

2月28日

子どもたちの豊かな感性を育む

オペラ・オーボエ・ピアノコンサート

情操教育指導者や音楽教諭による「オペラ・オーボエ・ピアノコンサート」が庶路学園で開催されました。

コンサートでは、福田美佳さんと山田陽子さんがオペラ蝶々夫人より「ある晴れた日に」を披露。その後、同園の出村衣里菜教諭がオーボエで、有名なJ-P O Pの楽曲を演奏しました。会場には、約80人の児童生徒が集い、音楽に身をゆだねていました。



オペラを歌う福田さん（右）とピアノ伴奏者の山田さん

2月27日

入所者が快適に過ごせるように

女性ボランティアがタオル寄贈

町女性ボランティアクラブ（桧森千枝子会長）が特別養護老人ホーム清和園にタオル290枚とティッシュペーパー80個を寄贈しました。また、同クラブを経由して釧路丹頂農協白糠支部女性部からもタオルが100枚寄贈されました。

桧森会長は「入所者の方が少しでも快適に過ごせるように願っています」と話していました。



清和園の職員（中央2人）と施設を訪れた会員4人

2月20日

二葉幼稚園跡地を町に寄贈

二葉学園感謝状贈呈式

学校法人二葉学園から町に土地が寄贈されました。寄贈された土地は、元々同法人が運営していた「昭信学園白糠二葉幼稚園（東2北4）」の跡地です。

この日は、役場で感謝状贈呈式が行われ、棚野孝夫町長から同園の漆崎高理事長へ感謝状が贈られました。

漆崎理事長は「こども園の運営に協力いただいた恩返しです。土地を有効活用してほしい」と話していました。



感謝状を手にした漆崎理事長（左）と棚野町長

2月18日

1、2年生が英語で買い物に挑戦

英語ではじめてのおつかい

町と学校法人田中学園との連携事業で、白糠学園と庶路学園の1・2年生が、英語を使って買い物をする体験学習「英語ではじめてのおつかい」を行いました。

児童は、町内のコンビニで店員に扮した外国語指導助手(ALT)に商品の値段を尋ね、お金を払ってお礼を言うまでの一連のやりとりを英語で挑戦。中には流ちょうな英語で会話をする児童の姿も見られました。



英語で会話をしながら買い物をする児童たち

2月28日

インドネシアでの一週間を振り返る

「青少年海外研修事業」報告会

青少年海外研修事業で1月9日からの1週間、インドネシアを訪れた生徒の活動報告会が役場で行われました。

同事業は、中高生に海外の歴史や文化、生活、環境活動などを体感してもらい、グローバル化が進む社会のリーダーに育ててもらおうと、昨年度から実施しています。

報告会では中高生8人が、視察したバリ島のごみ山や、持続可能な環境教育を実践する学校「グリーンスクール」、白糠のアイヌ文化と現地民族との交流の様子などをスライドで発表しました。

生徒たちは「ごみ山のごみを換金して生計を立てる人がいることに驚きました。その人たちは、一日働いても238円ほどしか稼ぐことができないという話を聞いて、日本が恵まれているということを再認識しました」、「ごみの問題を目の当たりして、より一層環境について考えさせられました」などと研修の感想を述べました。

【海外研修参加者】田中杏奈さん(白糠学園7年)、野田心花さん(同8年)、細谷佳樹さん(茶路中学校2年)、對木亜香さん(同2年)、天内基輝さん(庶路学園7年)、田甫玲奈さん(同8年)、菅原琥太さん(白糠高校1年)、松田あやめさん(同2年)



1人10分の持ち時間の中で、現地で目の当たりにしたごみ問題や文化の違いなどをスライドにまとめて発表

2月21日

環境について考える

ポスターコンクール表彰式

釧路管内の小中学生を対象とした「自然の番人宣言」ポスターコンクールの表彰式が役場で行われ、入賞した9人が表彰を受けました。

同コンクールには、釧路管内から65点の応募があり、町内では11人が入賞しました。そのうち、茶路中学校2年生の對木亜香さんが優秀賞を受賞しました。

式では、棚野孝夫町長が入賞者へ表彰状を手渡し「ポスターは作ることで、多くの人に見てもらうことができます。皆さんの協力のおかげで、美しい町づくりにつながっています」と感謝を述べました。對木さんは「ポスターを見た人が、環境について考えるきっかけの一つになればうれしいです」と受賞を喜んでいました。

【佳作】今井優莉さん(白糠)、内山涉夢さん(同)、岡田碧輝さん(同)、小松結衣さん(同)、馬場美貴子さん(同)、平賀柊さん(同)、松島孝太郎さん(庶路)、工藤いぶきさん(茶路2年)、細谷佳樹さん(同)、松永あゆみさん(同) ※白糠・庶路の入賞者は全員8年生



前列中央が優秀賞を受賞した對木さん



「きれいな町と環境汚染が進んだ町の未来」を対比して描かれた對木さんの作品

